

第 20 回
地域自治
講座

過小評価が続く 島根原発の活断層問題

講師

立石雅昭

新潟大学
名誉教授
(地質学)

新潟県原発の安全管理に関する技術委員会委員
原発問題住民運動全国連絡センター代表委員

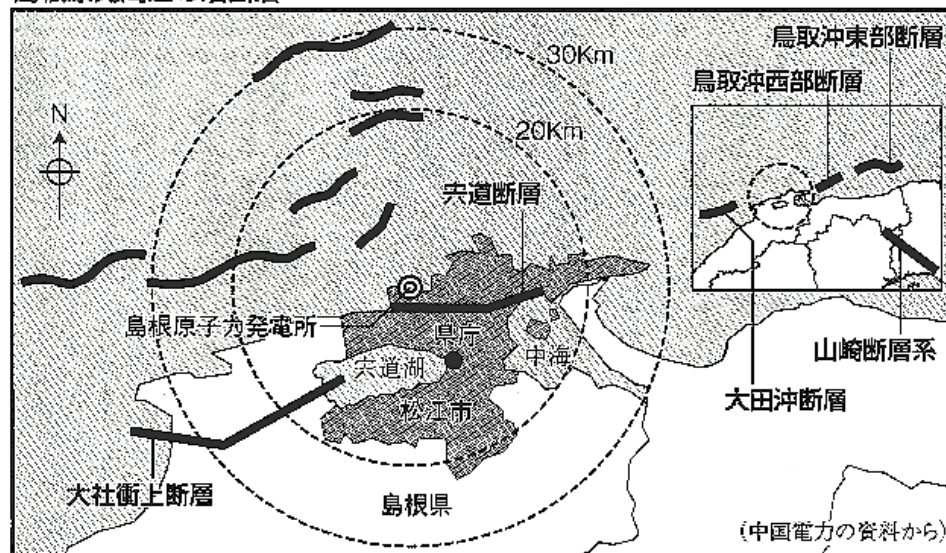
とき 6月30日(土)

午後1時30分から

ところ 県民会館3F大会議室
(松江市殿町)

※ 資料代 500円

島根原発周辺の活断層



福島原発の事故から1年3ヵ月、国民の思いに背を向けて、事故の究明と対策もないまま原発再稼働を急ぐ政府と電力事業者。このままでは再び原発事故が起こります。50キロ圏内に70万人が暮らす島根原発。ところが、島根原発に影響する活断層については中国電力と安全保安院によって過小評価が続いています。津波対策も相変わらず非科学的。新潟県での議論も踏まえながら、島根原発の安全性について考えましょう。世界最大の集中立地・柏崎刈羽原発の危険性を追究し活動されている立石雅昭先生からお話を聴きます。

どなたも参加は自由です。誘い合わせてお出かけください。

主催：しまね地域自治研究所（事務局：上園昌武 島根大学法文学部 研究室 Tel/Fax0852-32-6137）